

プレスリリース

2022年4月7日
日鉄ソリューションズ株式会社

特例子会社 Act.の農福連携事業に「安全見守りくん」導入 ～障がいを持つ方の見守りを IoX で支援、誰もが生き生きと働ける社会へ～

日鉄ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：森田宏之、以下「NSSOL」）は、特例子会社である株式会社 Act.（以下「Act.」）徳島オフィスでの農福連携事業向けに、IoT デバイスを用いて障がいを持つ方の作業を安全管理の観点から見守る IoX ソリューション(※1)「安全見守りくん」(※2)の提供を3月9日に開始しました。

Act.は、NSSOL グループとしての障がい者の雇用拡大を目的に2021年4月に設立した(※3)特例子会社です。農業と福祉、そして企業が連携することによって、それぞれの分野が抱える課題を解決し、地域共生社会を実現する「農福連携」に取り組んでおり、その一環として2021年10月に徳島県鳴門市に徳島オフィスを開設し、農業法人等に向けて農作業支援を行っています。

これまで農作業支援の現場の安全管理は、現場管理者が農作業に従事するメンバーの監督を実施することで行われていましたが、作業地が広大で見通しが悪い場所があったり、作業者が複数の作業場に分散したりするなど、現場管理者の目が届きにくい状況が発生し、不慮の事故に迅速に気が付くことができないうリスクが存在していました。また、夏季のビニールハウス内の作業における熱中症リスク回避など、目に見えない体調面のモニタリングが必要となる場面も存在します。こうした安全管理上の課題に対し、現場管理者や作業者の安全状況をリアルタイムに把握することで緊急時における迅速な現場管理者の対応できる体制の実現を目的に、NSSOL の IoX ソリューション「安全見守りくん」の導入を決定しました。

今回の導入では、現場作業員 10 名に異常発生の際には現場管理者に対しアラートで通知するとともに、作業時間帯中は東京の Act.本社からも常時見守る体制を整備しました。見守り対象者が身に付ける端末には、市販のスマートフォンを活用することも可能でしたが、携帯性がよいこと、ハンズフリーが確保でき農作業に支障が生じないこと、障がいを持つ方にも容易に操作可能であることから、首かけ式のデバイスである、フェアリーデバイス社の THINKLET を採用(※4)しました。



THINKLET を装着した農作業



農場全体の様子



THINKLET 本体

安全見守りくんは、遠隔から作業員の安全を見守ることが出来る安全管理支援の IoX ソリューションであり、すでに日本製鉄（株）をはじめとした複数の製造業顧客の現場にて提供、運用を開始していることに加え、高知県北川村のゆず栽培事業における農作業者の見守りに活用する実証実験(※5)も 2021 年に行っています。

NSSOL グループは、今後も製造業をはじめとした企業の DX 実現を支援するとともに、ESG/SDGs への取り組みの一環として、障がい者の方の社会進出支援をはじめ、IT の力で誰もが生き生きと働ける社会を実現することに取り組んでまいります。

以 上

(※1) [IoX ソリューション](#)

(※2) [現場作業員向け 安全見守りくん](#)

(※3) [障がい者が活躍する場の拡大を目指し、新会社「Act.」設立](#)

(※4) [NSSOL とフェアリーデバイセズ、作業現場の生産性・安全性向上推進のための協業を開始](#)

(※5) [スマート農業推進に向け、作業員の遠隔見守りソリューション「安全見守りくん」を高知県北川村ゆず農園の現場に実験的適用](#)

【本件に関するお問い合わせ先】

日鉄ソリューションズ株式会社
IoX ソリューション事業推進部
E-mail : iox-mkt@jp.nssol.nipponsteel.com

【報道関係お問い合わせ先】

日鉄ソリューションズ株式会社
管理本部 総務部 広報・IR 室
E-mail : press@jp.nssol.nipponsteel.com

・NS Solutions、NSSOL、NS（ロゴ）、IoX、安全見守りくんは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。

・THINKLET は、フェアリーデバイセズ株式会社の登録商標です。

・本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です